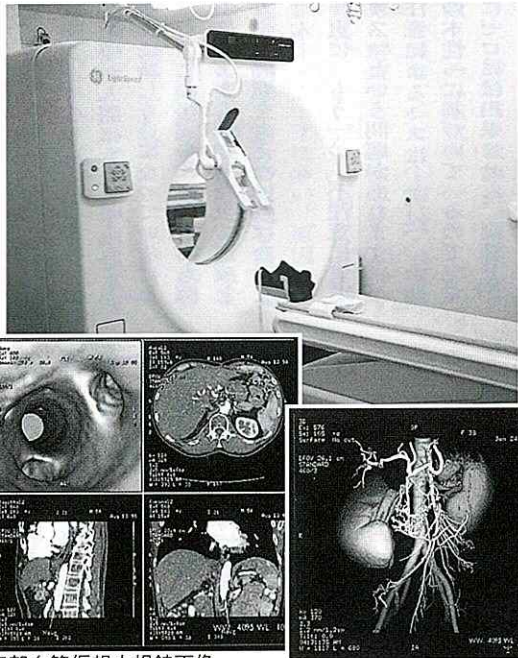


当院で最新のCT導入

十二月二十日より、当院にマルチスライスCTスキャナが設置され稼動となった。このCTは全国でも約三十台しか稼動されておらず、千葉県内では当院が初めてである。

十二月二十日より、当院放射線科にマルチスライスCTスキャナ(GE社製LightSpeedQX)が設置され稼動となった。このCTは従来のシングルスライスCTと比較し、一回の撮影で同時に複数の輪切り像を得ることができ、検査時間の大幅な短縮が可能とな

り患者さんの負担が軽くなった。この装置には最新のテクノロジー



腹部血管三次元画像 腹部血管仮想内視鏡画像

「看護管理研修」 かずさアカデミアパークで開催

今年度の看護管理研修は「目標管理と成果責任」をテーマに、十一月十三日から十四日にかけて、かずさアカデミアパークにて行われた。看護部の部長・主任二十三名全員が参加した。

十四日には、(株)ケアブレイズの松下博宣先生をお迎えし「目標管理」について看護経営学の観点から講演をして頂いた。日曜日にもかかわらず、看護部以外からも五部門の部長の参加があり、当院においても目標管理とい

が凝縮されており、微細病変の描出に優れ、三次元画像・仮想内視鏡像といったような多彩な機能を搭載しており今まで以上に高度な診断が可能となった。尚、このCTは今現在日本全国で約三十台しか稼動しておらず、千葉県内では当院一台のみの稼動となっている。今後、地域医療の高度化に向けて大きく期待されるとともに貢献していくことである。

介護保険講演会開催

十二月六日、管理棟大会議室において介護保険講演会が行われた。今回は医療法人社団さつき会袖ヶ浦さつき台病院矢田洋三院長をお招きし、職員約百名が参加した。

内容は、主に医師を対象としたかかりつけ医の意見書の記入の仕方についての説明であった。かかりつけ医の意見書は介護認定の重要な資料となり、また介護サービスの実施の時にどのようなサービスが必要であるか、非常に参考になる。資料を使って意見書の項目ずつ細かい説明があり、大変わかりやすい内容であった。さつき台病院ではこの意見書を医師が書く前に医療相談室で患者さんと家族の方に介護保険申請票を記入してもらって、その問診票を参考にしながら意見書を書くというやり方をとっている。これにより客観的な判断の意見書となる。最後に意見書の項目にある痴呆についての説明があった。アルツハイマー型痴呆、脳血管性痴呆、レビー小体型痴呆等の種類の説明



さつき台病院の矢田院長を講師に迎えての講演

があり、痴呆の判定に役立つ内容であった。
質疑応答が活発に行われ大変有意義な講演であった。
(介護保険の簡単な解説を二面に掲載)

患者さんに対する看護の講義を行った。

昨年度までは木更津クリニックのみで見学実習が行われていた。

クリスマスミニコンサート 外来に清らかな歌声響く

十二月二十五日、クリスマス会が一階のロビーにて行われた。多数の患者さんが集まりボランティアの皆さんと童謡を歌ったり、混声きみつ合唱団、新日鉄合唱団による合唱を鑑賞した。そしてボランティアさんの手作りの巾着袋がサンタクロースから患者さんにプレゼントされた。

千葉県透析研究会で発表

十一月二十八日、千葉県医療センターにおいて、第二十七回千葉県透析研究会が開催された。当院からは大崎慎一病棟医長、臨床工学技士ら四題の発表がなされた。

職員旅行でリフレッシュ

十月十一日から三週間にわたり、二泊三日の日程で職員旅行が行われた。今年の旅行先は、一班、三班が金沢、二班が沖繩であり、参加者それぞれが各旅行先を満喫し、心身ともにリフレッシュすることができたようである。
(関連記事四面に掲載)

忘年会で一年の締めくくりを

十二月十八日、ベイプラザホテル観月にて、恒例の忘年会が行われた。総勢二百四十五名の参加者のもと盛大に行われ、一年間の労をねぎらった。

年頭のあいさつ



平成十二年 元旦
玄々堂君津病院 院長 茅野 嗣雄

あけましておめでとうござい

ます。西暦二千年という大きな節目をみなさまとともに迎えました。年の初めにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

私どものめざす医療は地域に密着した急性型の医療であります。死亡率トップのがんをはじめとする多くの急性型疾患や救急疾患に対して、病院の総力を

あげて取り組み、地域のみなさまの苦しみを取り除き、健康を回復するお手伝いをするのが私どもの使命と考えております。そして、透析医療、訪問診療、訪問看護も、その延長線にあると考えます。

医療看護は、病に悩む人と医療者との信頼関係の上に築かれるものであります。おたがいの信頼感なくしては医療看護は成り立たないと言っても過言ではありません。

ん。「信頼感の上に立った医療看護」への飽くなき努力こそ病院全職員の目標であります。医療技術の向上、よりよいマナー、アメニティの向上、そして、なによりも安全確実な医療看護サービス、これらすべてに努力することが地域の信頼に応える道と考えております。

地域のみなさまの健康をまもる医療看護の道は、決して平坦なものではないと思いますが、病院職員一同気持ちを引き締め今年一年を努力していきたいと存じます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。



2000年の門出を祝って
かしの入るもちつき会

う経営戦略の関心の高さが感じられる研修であった。

当院看護部では今後目標管理を本格的に導入し、より質の高い看護をめざしたいと考えている。

2000年を迎えて 新年餅つき会開催

2000年問題対策本部 越年に対応して設置

コンピュータの誤作動のおそれが指摘された2000年問題で、君津病院では越年に対策本部(本部長・茅野嗣雄院長)を設置し対応した。
2000年問題対策本部は、大晦日午後九時に新館会議室に置か

鶴舞看護学生 君津病院で透析見学

十二月十四日千葉県立鶴舞看護専門学校の学生三十九名が君津病院、木更津クリニック、坂田クリニックで透析室の見学実習を行った。これに先立ち八日、岡崎陽子透析室部長が鶴舞看護専門学校で「透析患者の看護」と題し、透析



そのものごとく
真剣実習

第三回 接遇セミナー開催

ホスピタルマナー委員会主催のセミナーが十一月十一日に開催された。講師に岩下宣子先生を招き、



クリスマスは
みんなの笑顔

シリーズ”病気を考える“ 26 甲状腺疾患

今回は内分泌疾患である甲状腺疾患について、当院の内科部長荻野良郎先生に解説をお願いしました。



荻野良郎 内科部長

甲状腺は輪状軟骨前面（喉ぼとけ下方、首の付け根正面）に日型に存在する重量15〜20gのホルモン分泌腺である。

甲状腺ホルモンは、海藻などに含まれるヨード素を原料にして産生され、成長、代謝、交感神経、呼吸、造血、筋肉骨格系、卵巣を含む他の内分泌系、糖―蛋白質―コレステロール代謝などに関与するためその過不足により多彩な症状を呈する。

甲状腺ホルモンが過剰あるいは減少した場合

この場合出現する症状は表1のごとくであり、顔貌、行動など特徴的なことも多い。どちらの疾患も甲状腺腫大をともなうことが多い。

ホルモンの過剰を伴う疾患は

- ①ホルモン生成・分泌亢進が原因
バセドウ病、機能性結節性甲状腺腫（腺腫、腺腫様甲状腺腫の3%がホルモン産生する性格をもつ）、TSH産生下垂体腫瘍（良性の脳腫瘍）、卵巣腫瘍、橋本病と甲状腺腫の一部。バセドウ病が最も多い。
- ②甲状腺の破壊によるホルモンの放出が原因
亜急性甲状腺炎（疼痛発熱を伴う）、無痛性甲状腺炎、橋本病。数ヶ月のみ症状あり。

性脳腫瘍、卵巣腫瘍、橋本病と甲状腺腫の一部。バセドウ病が最も多い。

ホルモン不足を伴う疾患は

- ①原発性（甲状腺そのものの疾患）
慢性甲状腺炎（橋本病）、全身性疾患（肉芽腫、鉄、アミロイド沈着等）、手術、放射線後、薬剤、先天性
- ②下垂体、視床下部の腫瘍、炎症、血管障害など脳の病変によるもの

【表1】

| 過剰による症状 | 不足による症状 |
|--------------|-------------------|
| 汗が多い、暑さに弱い | 皮膚の乾燥、粗雑、蒼白 |
| イライラする、疲れやすい | 寒さに弱い、声がかれる、耳が遠い |
| 動悸、息切れ、手の震え | 言語や動作が遅い、記憶障害 |
| 眼球突出、眼瞼浮腫 | 眼瞼、顔面、四肢のむくみ |
| 食欲亢進あるがやせる | 食欲ないが体重増加、便秘、筋力低下 |
| 排便回数増加 | 巨舌、眉毛が薄い、頭髪脱毛 |
| 月経異常 | 月経過多 |
| | 心拡大、息切れ |

検査の異常

過剰の場合

- AIP、時にGOT、GPT高値
- コレステロール低値
- 高血糖

不足の場合

- GOT、GPT、CPK、LDH高値
- コレステロール高値
- 徐脈、心電図異常
- 貧血

【表2】

| 疾患 | 良性?悪性? | 頻度 | |
|---------------|--------|-----------|-------------------|
| 単純性甲状腺腫 | 良性 | 0.1~1.5% | 10~30才、女:男=4:1 |
| 結節性甲状腺腫 | 良性 | 0.5~2.4% | 中年以降、女:男=3:1 |
| 腺腫 | | | |
| 腺腫様結節、腺腫様甲状腺腫 | | | |
| 甲状腺癌 | 悪性 | 0.14~1.6% | 20~60才、女:男=5~10:1 |

甲状腺の腫瘍性病変とその性質を表2にまとめた。

高齢者向けメニュー

高齢者になるとそしゃく力が低下してきます。そこで今回は軟菜を中心に又、不足しがちなカルシウムも容易に摂れる様な献立を紹介します。



食べやすく栄養価たっぷり 高齢者向けメニュー

TOTAL

- エネルギー ……541Kcal
- たんぱく質 ……22.7g
- 脂質 ……17.9g
- カルシウム ……290mg
- 食塩 ……3.5g

単純性甲状腺腫は、女性ホルモンであるエストロゲンや様々な食物に含まれる要素が原因であるが不明なことも多い。超音波などで経過を観察する。

と腺腫様結節は単発性で、腺腫様甲状腺腫は多発性に腫大する。超音波検査所見などで鑑別されるが、穿刺細胞診も必要な場合もある。腺腫は直径3cm以上、増大傾向、特殊な細胞診では手術が必要である。腺腫様結節と腺腫様甲状腺腫は術後残った組織から再発する

ることもあり、著明な腫大や過度の違和感などを除けば原則的に手術適応はない。このためこれらの疾患は経口での甲状腺ホルモン剤による甲状腺腫小を試みることもある。なお、穿刺細胞診の正診率は100%でないため定期的な観察が必要である。

甲状腺腫は、高頻度の疾患であるが進行が緩徐なものが多く他の癌より一般に予後が良い。偶然診断された場合が90%を占め自覚を伴わないことが多い。診断は超音波、CTと穿刺細胞診が主体となる。治療は手術であるが放射線や化学療法が有効な組織型もある。

さつまいものリゾット

- 材料
- さつまいも ……30g
 - ご飯 ……100g
 - 梅干し ……3g
 - みそ ……2g
 - だし汁 ……150cc
 - 塩 ……0.5g
 - しょうゆ ……1g
 - 粉チーズ ……2g
 - 千切のり ……少々

- 作り方
- ①さつまいもは皮を剥かず1センチ角に切り水にさらしておく。
 - ②梅干しは種を取り包丁で叩いてみそと合わせておく。
 - ③ご飯は流水で洗いぬめりを取る。
 - ④鍋にだし汁と塩、しょうゆを入れ③のご飯を入れ少し煮る。そして①を入れさつまいもが柔らかくなったら粉チーズを入れ一度沸騰させ皿に盛り付け②と千切のりを飾れば出来上がり。

豆腐団子の甘酢煮

- 材料
- 木綿豆腐 ……100g
 - 豚挽肉 ……15g
 - 玉ねぎ ……15g
 - 生姜 ……1g
 - 干し椎茸 ……1g
 - 片栗粉 ……4g
 - 塩 ……0.2g
 - こしょう ……少々
 - サラダ油 ……7g
 - ほうれん草 ……30g
 - 食酢 ……4g
 - 砂糖 ……5g
 - しょうゆ ……4g
 - 片栗粉 ……1.5g
 - 水 ……25cc

- 作り方
- ①干し椎茸は水で戻してみじん切りにする。玉ねぎ、生姜もみじん切りにしておく。
 - ②木綿豆腐は茹でてざるにあげ水切りして冷ましておく。
 - ③ほうれん草は茹でて5センチ長さに切っておく。
 - ④ボールに①と②と豚挽肉、塩こしょうを入れ、良く混ぜ合わせ冷蔵庫で冷やしておく。
 - ⑤甘酢を作る。鍋にAを入れ煮立たせ水溶き片栗でとろみをつける。
 - ⑥鍋に油を入れ180℃に熱し④を一口サイズに丸めながら揚げる。
 - ⑦⑥を⑤の甘酢にからめて皿に盛り付け③のほうれん草を飾って出来上がり。

変わり蒸し物

- 材料
- 大根 ……120g
 - むぎえび ……10g
 - 银杏(茹) ……10g
 - 生椎茸 ……3g
 - 卵 ……20g
 - だし汁 ……20cc
 - しょうゆ ……0.8g
 - 塩 ……0.2g
 - だし汁 ……150cc
 - しょうゆ ……2g
 - 砂糖 ……1g
 - 塩 ……0.2g

- 作り方
- ①大根は10センチ位の長さに切り皮をむき下茹です。下茹でしたらBで柔らかくなるまでコトコトと煮る。
 - ②生椎茸は石づきを取りそぎ切りにする。
 - ③Aを混ぜ合わせ卵液を作る。
 - ④①の大根の中をくりぬき、器にして②とむぎえび、银杏を入れ③の卵液をそそぎ蒸し器で蒸す。
 - ⑤大根を煮た汁は煮詰めておく。
 - ⑥④が蒸しあがったら皿に盛り付け⑤の汁を流す。

抹茶かん

- 材料
- 寒天 ……0.4g
 - 水 ……20cc
 - 砂糖 ……8g
 - 牛乳 ……40cc
 - 抹茶 ……0.5g

- 作り方
- ①鍋に水、砂糖、寒天を入れ火にかけ煮立たせそして牛乳を入れ沸騰直前に火から下ろし湯でといた抹茶をいれ混ぜ合わせ型に流し冷蔵庫に入れて固める。
 - ②固まったら型で抜き皿に盛り付ける。

職員旅行

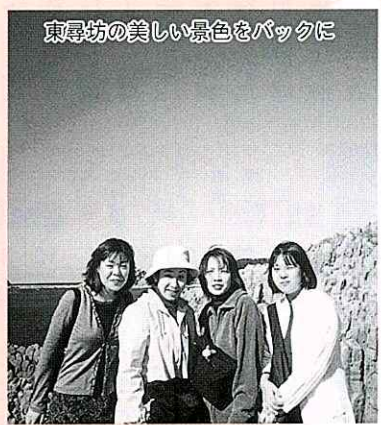
3班
金沢へ
10月24~26日
3A病棟 佐藤亜希子



10月24日~26日の3日間、私は3班で金沢に旅行に行ってきました。旅行前日から寝坊するのではないかと不安を抱きながら眠りましたが無事にみんなと旅に出ることができました。


1日目は東尋坊、永平寺、九谷焼の店をまわり、2日目は自由行動で兼六園、武家屋敷、加賀友禅の店、あめ屋などをまわりました。その中でも東尋坊の景色が本当にきれいだったことが心に残っています。九谷焼の店では、あれでもない、これでもないとさんざん見てじっくりと選んだ結果、“すごくかわいい”と気に入った桜柄のトックリとおちょこを買いました。今回の旅行では、仕事以外では関わることの少ない仲間達と一緒に買い物をしたり、きれいな景色を見たり、食事をしたり、夜は遅くまでお酒を飲んでおしゃべりしたりと楽しいひとときを過ごすことができました。

旅行のために3日間もお休みを頂き、「君津市東坂田」を離れ、仕事も忘れて心身共におもいきりフレッシュしてきました。君津に帰ってからは、帰りがけに買った大きなたらばがにをほおばりながら早速1日目に買った桜柄のおちょここととっくりでお酒を飲んで眠りました。



東尋坊の美しい景色をバックに

1班
金沢へ
10月11~13日
4階病棟 大塚妙子



旅行は楽しく、美味しいもの？
今の時代、一家の主婦が旅行に出掛けるといっても、たいした問題ではないようである。今回病院旅行という名のもとに私も参加させていただいた。

2泊3日の北陸の旅、初日は晴天に恵まれ、東尋坊の海の青さに感動し、夏日のような暑さに驚かされた。金沢市内で和食コースを美味しくいただき、コースなのに御飯のお替わりも許されて2杯、3杯、お腹いっぱい。2日目はフリー行動。よく食べる仲間3人でレンタカーを走らせ能登の探訪へ。あいにく雨に降られたが“北陸を旅すれば3日に1度は雨に逢う”とのガイドさんの案内どおり…。折角だから北陸の雨にうたれて奇麗？になるろう…。 “能登はいらんかいね”の輪島の朝市を見て、小路に入り思いがけなく蒔絵師と出会ってやや衝動買。能登牛のステーキで満足、満腹の後、七尾方面へ土産探しに…。朝8時から約11時間のドライブと食紀行を終え、夕食後また他の仲間と合流し食べて食べて少し？飲んで、解散間際に“ラーメン食べる？” “うん、食べよう”この瞬間H・O・T (H=ヒグチ・O=オオツカ・T=タカハシ) な食仲間が自然発足した。旅行が終わっても君津の地で活躍？活動している。職場と家族が与えてくれた大切な時間に感謝しながら…。



HOTな仲間と食紀行

2班
沖縄へ
10月17~19日
放射線科 佐藤章夫



沖縄のタクシーの運転手の話では旅行時の気温は11月下旬の陽気だとの話であったが、23度と君津からは考えられない温度を示していた。あいにく青空には3日間巡り会うことなく過ぎていったが沖縄という土地を肌で感じるには貴重な3日間だった。

行程3日目にいった首里城は、日本というより中国的な優美な城であり、ひめゆりの塔資料館で見た戦争の悲惨さと、それと対照的な米軍基地、広大なさとうきび畑など、又沖縄の人達の言葉や食べ物、音楽などの文化の違いを感じリゾート以外の面でも沖縄の人達と触れ合うことが出来たと思う。



訪れて初めて見る沖縄の素顔

外来待合室の椅子一新
外来診察室前の椅子をご覧になりましたか？すっきりさわやかパパーミントグリーン！肘掛けがあり背もたれのクッションも抜群で、とっても座り心地が良いです。あなとも一度座ってみてはいかが？



ペパーミントグリーンの素敵な椅子に

人事往来

看護部
・3A病棟
木場迫美子(3B病棟)
・3B病棟
谷 美行(4階病棟)
・2階病棟
廣谷 知子(3B病棟)

・外来
赤坂 桂子(3A病棟)
・木更津クリニック
榎本 映美(外来)

※()内は旧所属部署

趣味の欄
一期一会
外来クラーク 石井洋子

スキーとテニスに燃えていた二十代半ばの頃、そろそろ体力の趣味は限界かと思いついて、ふと生を通して出来る趣味は何かと考えた。縁あって茶道入門となった。それまでは、お茶は和菓子を食べ、茶碗を回し、抹茶を頂く程度の知識しかなかった。良き師との邂逅もあり、いざ茶の湯の世界に入ると日本の文化と伝統(禅・歴史・建築・書画・焼物・工芸・短歌・香道・料理・着物・植物・etc)全て




又ストレスも癒され心静かになれる茶道

のエッセンスが、凝縮した奥の深い素晴らしいものだった。凝り性の私は、すっかり魅了されてしまった。日々の割稽古と称される数々の点前の練習を重ね、やがてそれらの集大成であるお茶事となると、会の主旨や時節を踏まえた心を込めたおもてなしの為に、茶道具の取り合わせ、料理、菓子、茶碗を始め庭の手入れなど全て、本番当日から逆算しての数日前からの準備が始まる。当日の客は、亭主のそうしつたい入れに対し、趣向を理解し、労をねぎらい、共にひとときを心豊かに遊び楽しむ。まさに一期一会の精神がそこにある。お茶席に坐るだけで、心が落ち着き、日々のストレスも癒され、優しい「洗心」の自分になれる空間が広がっている。今は稽古も一時休止状態だが、時々禁断症状が出てしまう程、知ってしまうとやめられない一生の趣味といえよう。

今回のサブタイトル、凝縮した奥の深い素晴らしいものだった。凝り性の私は、すっかり魅了されてしまった。日々の割稽古と称される数々の点前の練習を重ね、やがてそれらの集大成であるお茶事となると、会の主旨や時節を踏まえた心を込めたおもてなしの為に、茶道具の取り合わせ、料理、菓子、茶碗を始め庭の手入れなど全て、本番当日から逆算しての数日前からの準備が始まる。当日の客は、亭主のそうしつたい入れに対し、趣向を理解し、労をねぎらい、共にひとときを心豊かに遊び楽しむ。まさに一期一会の精神がそこにある。お茶席に坐るだけで、心が落ち着き、日々のストレスも癒され、優しい「洗心」の自分になれる空間が広がっている。今は稽古も一時休止状態だが、時々禁断症状が出てしまう程、知ってしまうとやめられない一生の趣味といえよう。

今回のサブタイトルは、フランス、ロース地方のワインで、何種類かの黒ブドウと白ブドウを合わせてつぶし、搾り取った果汁を赤ワインと同じ製法で作ったタヴェル・ロゼです。果汁を搾る時に気温が高くと、その時にアルコール発酵がすでに始まり、果汁に色がつき、鮮やかなピンク色に色づくという性質を利用しています。したがって、このロゼワインは、ドライでコクがあり、キリッとした爽快な喉ごしを楽しむことができます。

タヴェル・ロゼ



編集後記

◆何かと話題になった二〇〇〇年問題。我々編集委員も今年一年、多くの話題を皆さんに提供したいと思えます。 K・T
◆西暦二〇〇〇年、遂に今年は、三〇才だ。でもまだまだ体を鍛えるぞ！ H・O
◆西暦二〇〇〇年、四捨五入したら三〇才だ。まだまだ肝臓を鍛えるぞ！ M・I
◆不安と期待で迎えた二〇〇〇年。今年はずっと自分のための時間を大切にしたい。 Y・M
◆二〇〇〇年に乾杯。今年こそ飲み過ぎに注意！(無理だね。きつと) H・M
◆今年は何か新しい趣味を見つけようと思えます。 E・T
◆今年も載せざる、長嶋監督の優勝談話記事。 M・Y
◆また一つ、年をとってしまおう。 M・M
◆アツというまででしたが、他の部署との交流もあり楽しくすごしました。 T・T
◆今回で新聞委員も無事終了することになりました。二年間ご協力有り難うございました。 M・F
◆二年間、ありがとうございました。これからのヒューマンをよろしくお祈りします。 H・S